

今年の生育は平年並みに進んでいます。しかし、一部では、溝に水が溜まり、湿害を受け、葉色が淡くなっています。排水口や溝を手直しして排水を促しましょう。

基肥一発肥料（エコ大麦48号）を使用していないほ場は追肥を施用しましょう。

## 管理のポイント！

- ①排水溝の手直しを行い、ほ場の排水対策を実施しましょう。
- ②分施ほ場で追肥する場合は、降雪予想が出ていないことを確認しましょう。

## 1. 排水の徹底

冬期間の雪や雨で、排水溝が崩れたり、溝に水が溜まっているほ場が多く見られます。排水溝を早急に手直しし、水が流れるようにしましょう。

### 【排水対策の主なポイント】

- ①崩れた排水溝の手直し
- ②溝の連結及び排水口の点検・補修
- ③排水口の掘り下げ
- ④停滞水が見られる場合は速やかに排水溝を増設する



※ 水が流れるように溝を手直しする

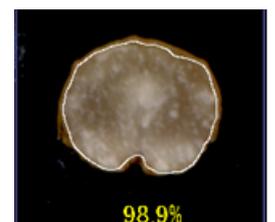
## 2. 消雪後の追肥（分施栽培）

※分施栽培のほ場は、消雪後、速やかに実施して下さい。

肥料名	施用量(kg/10a)
硫 安	20

※基肥一発肥料（エコ大麦48号）を使用しているほ場は、分施栽培に比べて葉色が淡くなりますが、「消雪後の追肥」は施用しないでください。

硝子粒（右の写真参照）が増加し、品質が低下します。



硝子粒(切断面が透きとおる)